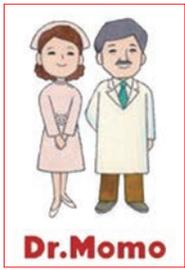


Dr.Momo装置



久保田情報技研展示風景



医療カルテのIT化が進む現在、この医療問診システム装置は病院・医院の外来問診や小児科、婦人科等の専門医の約200名の指導を得て、対話型の幅広い診断支援システムとして完成した。このシステムのアーキテクチャは特許として登録されている。インフルエンザ感染症等で突発的に患者が来院しても即座に対応できスタッフへの感染も防止できる。又小児救急相談にも活用可能で、医療のICT化への応用が期待される。

支援内容◆大手企業が取り組む医療情報技術は、事業化のカベが高く実用化が困難であったが、平成28年7月(株)久保田情報技研との間でビジネスマッチングの機会が生まれ、特許及びノウハウの実施許諾契約を締結し医療問診システムに合わせて、医療用多国語翻訳機技術も事業継承された。

支援成果◆平成28年7月、「未来を担う東京都の中小企業市」に出展し、(株)久保田情報技研の「ゆめ病院」ビジネスと多国語医療問診システムの展示公開を行い、大手企業との取引交渉がスタートした。

COコメント◆安藤光代表は、大手情報企業から(有)クレドシステムを起業し、社会貢

献として自動問診システムの開発一筋に25年間努力を傾注してきた。その努力が実って(株)久保田情報技研と出会い事業化の見通しが立った。先見の明と祝福したい。現在救急車出動管理、および認知症問診システムも開発中である。



事業継承調印

有限会社 クレドシステム

代表者 安藤 光
〒336-0932 埼玉県さいたま市緑区中尾1117-1
電話：048-596-5235
URL:<http://blog.livedoor.jp/credosystem>

医療問診システム「Dr.Momo」